



令和5年8月9日

富士見市議会議長 田中 栄志 様

会 派 名 公 明 党  
代 表 篠 田 剛

### 行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

#### 記

1 期 間 令和5年7月24日（月）～ 7月25日（火）（2日間）

2 参加者名 篠田 剛、深瀬 優子、篠原 通裕、山下 淑子

3 場所（行政視察地・研修場所）

7月24日 岡山県岡山市役所（岡山県岡山市北区大供1丁目1-1）

7月25日 香川県高松市役所（香川県高松市番町1丁目8-15）

4-1 調査・研修事項

【岡山市立石井小学校におけるイマージョン教育について、  
「在宅介護」に焦点を当てた総合特区（AAAシティおかやま）に関する取組について】

（1）市の概要

岡山市は、岡山県の南東部に位置し、岡山県の県庁所在地および東瀬戸経済圏最多の人口を有する都市であり、北・中・東・南の4行政区のある政令指定都市である。岡山市を中心とした岡山都市圏は中四国地方最大の都市雇用圏を持つ。

全国的には桃太郎の伝説と吉備団子や西大寺会陽（裸祭り）が有名で、温暖な瀬戸内の気候により育まれたシャインマスカットをはじめ、高級フルーツの産地としても有名な都市である。中心部には岡山城や日本三名園の一つである後樂園を擁している。

岡山藩池田氏の城下町として栄えた江戸時代以来、地域の中心都市として発展してきた高層ビルの立ち並ぶ中心部と、閑静な田園や中山間地域が広がる郊外部を持って

いる。市街地中心部に数多くの大学や専門学校が存在し、古くからの学都としての性格を、現在もより一層強めている。

人口 719,437人

面積 789.95km<sup>2</sup>

一般会計予算 3,623億円（令和5年度）

## （2）調査の概要1

### 【岡山市立石井小学校におけるイマージョン教育について】

#### ① 特色ある英語教育を始めた経緯

豊かな国際感覚と積極的な自己表現の能力やバイリンガルの素地を身につけ、そして世界の人たちと意思疎通ができる「英語が使える日本人」に育つことを期待して、英語をシャワーのように浴びる、浸るといった岡山市のイマージョン教育を、まずは平成17年度から平成22年度まで、イマージョン教育推進モデル校事業として、3小学校で実施した。石井小学校では音楽、図画工作、体育の3教科の授業を実施し、平島小学校、御南小学校では音楽の授業で実施している。

その後、外国人講師が日本の歌や楽器を指導することが難しいといった課題があり、教科を図画工作のみとし、併せて地域の要望もあり、児童数が減少している石井小学校1校に集中し、そこでの教育成果を全市に反映する今の形となった。

#### ② 石井小学校の入学児童について

石井小学校区に居住している児童と併せて、岡山市全学区に向けて、石井小学校へ入学希望する新一年生を募集し、募集人数を超えた場合は抽選で選出する。

通学は保護者の負担と責任のもとに、公共交通機関等を利用し、保護者による学校までの送迎は認めていない。

石井小学校への入学希望の全市募集が始まってから、応募人数が募集人数よりも多く、毎年抽選を行っている。令和5年度は、30名の募集に対し58名の応募があった。

#### ③ 授業内容やALTに関して

##### （ア）授業内容について

石井小学校では、特別支援学級以外の全ての学級でイマージョン教育を実施している。小学1年生から4年生までは、週2時間の図画工作の時間と週1時間の外国語活動を外国人講師と担任で行っている。また学校生活で英語に慣れ親しむ時間として、English Time、Happy Break Time、Morning Broadcastなど、週90分から180分程度で行われている。小学5年生、6年生は、それまでの指導成果を生かし、教科としての「外国語」を外国人講師と担任によるティーム・ティーチングで実施し、引き続きEnglish Timeなども実施している。

カリキュラムは、学習指導要領に則し、その上で石井小学校が独自に作成し、授業計画を立てている。

#### (イ) 外国人講師（ALT）に関して

2人のALTを配属している。1人が毎日小学校に勤務し、別の1人が週2日勤務している。朝と昼の校内放送とモジュール活動などで、様々な場面で児童との接触を多くしている。授業内容に関しても綿密に担任と連携をとり、授業計画立案に関わっている。

ALTの採用に関して、毎年、プロポーザル方式で民間派遣会社と単年契約で入札を行っている。授業に入る前に民間派遣会社内で、3日間から4日間、研修をした後に小学校に配属される。ALTの予算は、年間486万円(令和5年度)である。

#### ④ 学習効果や課題について

イマージョン教育の取組により、児童に英語を聞く力や話す力、コミュニケーションを積極的にとろうとする態度が身についている。石井小学校の卒業生からは、「外国語活動や英語の授業はよくわかった」「イマージョン教育は楽しかった」などの声が多くあり、岡山市の英語コンテストでは、石井小学校出身者が上位に入賞している。課題として、人事異動等により石井小学校のイマージョン教育の内容の引き継ぎが十分にできていないことがあげられた。

### (3) 調査の概要2

【「在宅介護」に焦点を当てた総合特区（AAAシティおかやま）に関する取組について】

岡山市は、地域包括ケアの実現を進める中で、人口減少と高まる高齢化率の影響による介護保険料の将来負担の抑制と、高齢者の介護サービスの在宅指向や政令市全国2番目の通所介護事業者数に鑑み、在宅介護を推進する各種事業を実施するため「高齢者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる社会の構築」をコンセプトに、平成25年2月に「地域活性化総合特区」として指定を受けた。

総合特区とは、認定を受けた自治体が国と協議して従来の規制の緩和を行ったり、全く新しい制度の実施など特別な措置をその地域限定で実施したりすることができるなど、地域の様々な課題を解決するために定められた国の制度である。

第I期の平成25年から5年間のポイントの一つが、将来負担の抑制を目的とした、通所介護サービスに対する質の評価の導入や介護予防ポイント事業の取組である。ポイントの二つ目が、在宅介護支援の拡充・産業集積を目的とした、最先端介護機器貸与モ

デル事業である。ポイントの三つ目が、地域包括ケアの実現を目的とした、訪問看護・訪問介護事業者に対する駐車許可簡素化と医療法人による配色サービスの実施であった。

第Ⅱ期の平成30年から5年間のポイントの一つが、生涯現役社会づくりの推進を目的とした、通称「ハタラク」などの高齢者活躍推進事業である。ポイントの二つ目が、自立支援と介護給付費・医療費の抑制を目的とした、デイサービス改善インセンティブ事業や訪問介護インセンティブ事業である。ポイントの三つ目が、高齢者・介助者・介護従事者の支援を目的とした、最先端介護機器貸与モデル事業や介護ロボット普及推進事業であった。

岡山市は、第Ⅰ期、第Ⅱ期の取組の効果や、規制緩和の新たな拡充等を通じて、岡山型持続可能な社会経済モデル構築総合特区の実現に向けた更なる取組を推進している。そのための第Ⅲ期に向けた令和5年の取組のポイントとして、一つ目が住み続けられる社会・地域づくりの推進、二つ目が更なる自立支援と介護給付費・医療費の抑制、三つ目が介護保険サービスの機能性向上による高齢者・介助者・介護従事者の支援と位置付けている。

#### 4-2 調査・研修事項

##### 【高松型地域共生社会構築事業における取組について】

##### (1) 市の概要

高松市は、日本一小さな都道府県である香川県の県庁所在地で、県の中心に位置する中核市である。国の出先機関や企業の支店等が集積された四国の中核管理都市として発展してきた。瀬戸内海に面し、世界から熱視線の「SE TOUCH I = 瀬戸内」として、瀬戸内海の島々を舞台に3年に1度開催される現代アートの祭典「瀬戸内国際芸術祭」によるインバウンドも多くなっている。都会的な便利さと、自然豊かな田舎ののどかさがほどよくマッチしたコンパクトな都市である。

人口 411,633人

面積 375.67km<sup>2</sup>

一般会計予算 1,689億円（令和5年度）

##### (2) 調査の概要 【高松型地域共生社会構築事業における取組について】

人口減少や少子高齢化が進行する今、介護と育児に同時に直面する「ダブルケア」や「8050問題」など、複合化・複雑化した課題に対応するため、高松市では平成30年度から高松型地域共生社会構築事業を実施。市内PTの設置からスタートし、段階的に整備を進め、令和4年4月からは、国の重層的支援体制整備事業の枠組みを活用し、

既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制づくりを推進している。具体的には3つを柱に据えて、地域共生社会の実現に向け、多くの取組を進めている。

## ① 地域みんなで助け合う仕組みづくりについて

### (ア) 住民主体の支え合いサービス

住民が主体となって、地域の困りごとについて話し合い、解決に向けて助け合う活動を展開するために、地域福祉ネットワーク会議を立ち上げた。現在、44地域中43地域で、コミュニティ協議会ができています。担い手養成研修会の受講を終了した担い手を育成し、住民主体の支え合いサービスを行っている。介護保険事業と介護保険外事業として、ゴミ出し支援や買い物支援など地域の実情に応じた支え合いを行っている。

### (イ) 参加支援事業

既存の各制度における社会参加支援では対応できない個別ニーズに対応するため、地域の社会資源などを活用し、社会とのつながりづくりに向けた支援を行う。事業は、一般社団法人 hito.toco（ヒトトコ）へ委託。令和4年度の相談件数は119件で、相談内容の多くは、ひきこもりと不登校だった。ひきこもりに関する相談では、家族・関係機関からの相談でも社会参加へ繋がられるケースが複数あった。

#### 参加支援事業者の役割

(1) 個別ニーズの把握・資源開拓支援対象者本人が抱える課題・本人のニーズ・希望や目標等を把握し、就労に限定しない個別ニーズに応じた地域社会資源の開発・働きかけを行う。

(2) 本人と社会資源のマッチング活動内容や条件、支援内容や環境整備等の調整を行う。オーダーメイドの支援メニューを作成。

(3) 参加支援活動中のフォローアップ参加支援事業者のほか、多機関協働事業者や包括的相談支援事業者など関係機関が連携し、本人の状態や活動状況の確認・助言等を行う。

## ② 話しやすく分かりやすい身近な相談支援

### (ア) つながる福祉相談窓口

総合センター窓口で、制度・分野にかかわらず幅広く福祉に関する相談を受け、担当課や関係機関へつなぐ。現在の設置数は7ヶ所で、本庁舎市民相談センターと6つの総合センターとなっている。

### (イ) まるごと福祉相談員

福祉の専門職(社会福祉士・ケアマネジャー等)が地域へ出向き、アウトリーチ等を行いながら、困りごとを抱える人や世帯の相談支援や、関係機関と連携した支援のコーディネートを行う。市社協へ委託し令和4年度配置数は15人。複雑化・複合化した課題を抱え必要な支援が届いていない人へも、相談に訪れるのを待つことなく、自ら地域へ出向く。

### ③ 暮らしのどんな困りごとにも対応できる仕組みづくり

多機関協働で複合的課題を解決するための、ネットワーク構築や、個別ケース支援について検討する場を「まるごと福祉会議」として位置付け、必要に応じて開催。高松型地域共生社会構築事業に関する理解を深め、連携強化及び意識の醸成を図るため職員研修などを実施している。

## 5-1 感想及びまとめ

### 【岡山市立石井小学校におけるイマージョン教育について】

今年18年目となる石井小学校のイマージョン教育は、公立小学校では他に類を見ない取組であるとともに、様々な試行錯誤の上に今の形になったことを実感した。

小学校低学年から日常的に英語に浸ることで、ネイティブの発音に慣れ、児童の発する発音もネイティブのように綺麗な発音となっているとのこと。また外国の人との壁が低く、そして何よりもその後の英語に対する学習も積極的であり、意欲もかなり高いとのことであるため、イマージョン教育の手法を本市においても大いに参考にすべきであると感じた。

また、「特色ある教育(イマージョン教育)」を実施している石井小学校区へ、他の市町村からの転入があることも伺い、地域の児童数減少を解消する要因となっていることに、これからの本市の課題解決策の一つとなり得ることを感じた。

### 【「在宅介護」に焦点を当てた総合特区(AAAシティおかやま)に関する取組について】

岡山市は、「自立支援」意識が不足したサービス提供により、かえって利用者の残存能力(生活能力)が低下し結果的に状態が悪化し在宅継続が困難にならないために、理学療法士や作業療法士、管理栄養士と歯科衛生士などの専門職と連携することにより訪問看護サービスのアセスメントを強化し、「自立」を意識したサービス提供と利用者の在宅生活維持に繋げる訪問介護インセンティブ事業に取り組んでおり、強い興味を持った。

本市においても、人口減少と高齢化率の増加の影響による介護保険料の将来負担の抑制と、高齢者の介護サービスの在宅指向に向けた様々な取組の必要性は高いと感じている。

## 5-2 感想及びまとめ

### 【高松型地域共生社会構築事業における取組について】

地域共生社会の実現に向けて、平成30年より様々な支援を積み上げてきた高松市において、重層的支援体制整備事業を実施するにあたり、地域づくり事業について、今後は分野をまたぐ交流の場や、活動・人のコーディネートが求められているとのことであった。また、つながる福祉相談窓口ができたことで、更なる「たらい回し」が発生しないよう、市の全ての窓口のあるべき姿について全庁的な共通認識が必要であり、担当や職種に関わらず、市職員として協働で課題解決に向けて「一緒に動く」ことができるような意識改革が必要とのことだった。

重層的支援体制の整備を進めている本市においても、相談窓口の設置やアウトリーチ支援体制の推進、事業を展開する上での民間委託の手法など、大いに参考にすべきである。